

講義情報

講義情報番号	
--------	--

講義表題情報

* 開講学年1	3
* 入学年度1	2013～
* 対象学科1	法学
* 科目名1	法社会学A

担当教員情報

* 担当教員	島 亜紀
--------	------

講義詳細情報

* 講義目的・講義内容	本講義の目的は、「犯罪・非行と統制」(法による統制と法以外による統制を含む)をめぐる「法と社会」の問題について、法学的かつ社会学的な観点から学び、考えることである。犯罪・非行、刑罰や刑事裁判は自分とは縁がないものだと思っている人は多い。しかし、本講義全体を通して、法と社会には密接な関わりがあること、そして、社会を構成する私たち市民が、犯罪や刑罰に対してどう考えどう対応するかによって、法とその運用のあり方は変わらうのだということ学ぶ。
* 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪と刑罰をめぐる社会問題について学び、授業で紹介する資料や考え方に言及しながら、自分なりの考えを主張することができる。 ・日本の現代社会における犯罪状況について、統計データを読むことを通じて把握し、説明することができる。
* 授業計画・授業外学習	<ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション: シラバスの確認、「犯罪」に対する複数の視点 事前学修: 「犯罪」と「刑罰」について、どのようなイメージを抱いているかを文章にまとめておく。(2時間) 事後学修: 授業ノートとリアクションペーパーをまとめる。(2時間) 2. 「犯罪」とは何か?: 刑法学的な意味での「犯罪」とは? 逸脱行為? 犯罪の「機能」? 事前学修: 配信資料を事前に読んでおく。(2時間) 事後学修: 授業ノートとリアクションペーパーをまとめる。(2時間) 3. 犯罪とメディア: 映画で見る犯罪報道【映像視聴】(グループワーク) 事前学修: 配信資料を事前に読んでおく。(2時間) 事後学修: 授業ノートとリアクションペーパーをまとめる。(2時間) 4. 犯罪とメディア: メディアが報じる犯人像や犯罪像、統計データとの比較、社会的制裁 事前学修: 配信資料を事前に読んでおく。(2時間) 事後学修: 授業ノートとリアクションペーパーをまとめる。(2時間) 5. 犯罪とメディア: 「ニュース価値」、モラルパニック、報道被害【映像視聴】(グループワーク) 事前学修: 配信資料を事前に読んでおく。(2時間) 事後学修: 授業ノートとリアクションペーパーをまとめる。(2時間) 6. 犯罪報道と犯罪統計: 少年犯罪、凶悪犯罪の状況 事前学修: 配信資料を事前に読んでおく。(2時間) 事後学修: 授業ノートとリアクションペーパーをまとめる。(2時間) 7. 犯罪加害者家族の問題(グループワーク) 事前学修: 配信資料を事前に読んでおく。(2時間) 事後学修: 授業ノートとリアクションペーパーをまとめる。(2時間) 8. 刑事司法における犯罪被害者、修復的司法 事前学修: 配信資料を事前に読んでおく。(2時間) 事後学修: 授業ノートとリアクションペーパーをまとめる。(2時間) 9. 刑罰と処分: 刑罰・処分のあり方: 治療的法学と治療的司法 事前学修: 配信資料を事前に読んでおく。(2時間) 事後学修: 授業ノートとリアクションペーパーをまとめる。(2時間) 10. 矯正施設: 日本の刑務所、世界の刑務所、刑務所のあり方【映像視聴】 事前学修: 配信資料を事前に読んでおく。(2時間) 事後学修: 授業ノートとリアクションペーパーをまとめる。(2時間) 11. 矯正施設: 更生に向けた刑務所のあり方、司法と福祉、更生・社会復帰に関わる人たち【映像視聴】(グループワーク) 事前学修: 配信資料を事前に読んでおく。(2時間) 事後学修: 授業ノートとリアクションペーパーをまとめる。(2時間) 12. 死刑制度: 死刑の執行状況、政府見解、世論調査 事前学修: 配信資料を事前に読んでおく。(2時間) 事後学修: 授業ノートとリアクションペーパーをまとめる。(2時間) 13. 死刑制度: ドキュメンタリーから考える死刑制度【映像視聴】(グループワーク) 事前学修: 配信資料を事前に読んでおく。(2時間) 事後学修: 授業ノートとリアクションペーパーをまとめる。(2時間)
* 履修の条件・注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・講義中の発言やグループディスカッションへの参加が求められる。 ・授業への貢献度と授業内でのリアクションペーパーの提出で50%の成績評価を行うため、毎回のペーパーをしっかり書き、提出することが求められる。 ・レポートや最終試験の課題においてChatGPTなどの生成AI(類似の機能を持つアプリなども含む)を使うことを禁ずる。生成AIを使いこなせるようになることも現代社会で重要であることは認めるが、自分自身で資料を読んで、考えて、まとめて書くという過程でそれぞれのスキルが身につくため、その過程を大事にすること。
* 成績評価基準・方法	授業中の発言やグループワークへの貢献度(20点)、授業後のリアクション・ペーパー(30点)、レポート(50点)による。オンラインでの実施となった場合も同様に評価する。
* テキスト	必要に応じて資料を配付する。
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・岡邊健編『犯罪・非行の社会学-常識をとらえなおす視座【補訂版】』(有斐閣、2020年) ISBN: 978-4-641-18453-4 その他、必要に応じて資料の紹介や配付をする。